

## 20周年の感謝を胸に、 「オール渋川・チーム渋川」で未来へ

合併20周年に当たり、市民の皆さんと共にこの記念すべき節目を迎えたことを、心より光栄に思っております。

また、この20年という歳月を共に歩み、市政を支えてくださった市民お一人おひとりに、深く感謝を申し上げます。

本市は、赤城山、榛名山、利根川、吾妻川などの豊かな自然や伊香保温泉をはじめとする観光資源、そして何より温かな市民の皆さんという宝物があります。

20周年の感謝を胸に、子どもたちが夢を描き、誰もが安心して自分らしく輝ける渋川の未来を創るために、これからも市民の皆さんと共に「オール渋川・チーム渋川」で歩んでまいります。

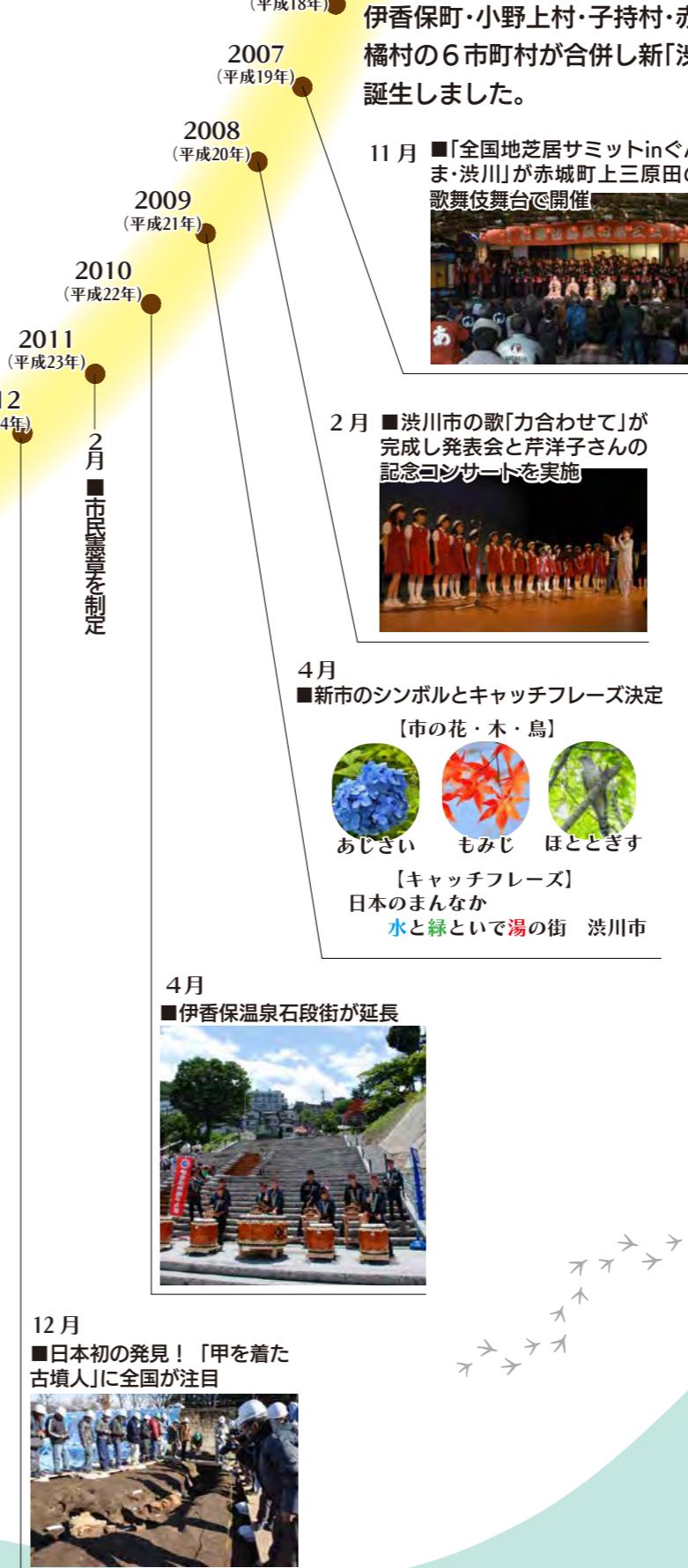


渋川市長 星名 建市

## 市制20年のあゆみ



■新渋川市誕生  
2006年(平成18年2月20日)、渋川市・伊香保町・小野上村・子持村・赤城村・北橘村の6市町村が合併し新「渋川市」が誕生しました。



市は、2月20日で合併20周年の節目を迎えます。この特集では、市の20年のあゆみをはじめ、はたちを祝つる等の20周年記念事業、しごとくわ応援大使や市民の皆さんのメッセージなどを紹介します。いろいろな出来事があった20年、皆さんでの節目を盛大にお祝いしましょう。詳しくは、本広報室(22-2182)へ。



渋川市20周年

特集

# 渋川市は20周年

# みんなで創る 未来のしぶかわ 一人一人が主役の20周年記念事業！

市は、20周年を市民と共に祝い、市民の一体感の醸成と市のさらなる飛躍につなげるため、市民や団体、企業などからこの節目を盛り上げるイベントなどの取り組みを募集しています。これまで、左記のとおり多くの取り組みが「20周年記念事業」の冠を付け、市と市民が共に祝う動きが広がっています。詳しくは、[本政策戦略課\(02985554\)](#)へ。

## 〈渋川市20周年記念事業〉

渋川市20周年記念事業として届出があつた事業を紹介します。(1月21日時点)

### ■市民や団体、企業などが実施するもの

- ▷ 渋川市民スポーツ祭ラグビーフットボール大会(小学生の部・春の開催)
- ▷ 渋川駅前通り歩行者天国「しぶほこっ」
- ▷ 1000人ROCK FES.GUNMA 弐零弐伍
- ▷ 元気をつなごう!ランタン祭りinおのがみ
- ▷ 心と身体を整えるバランスボールセミナー
- ▷ 伊香保ハワイアンフェスティバル2025
- ▷ しぶかわアニバーサリーフェスタ～ふるさと渋川の未来を食と音楽と芸術で奏でる～
- ▷ 伊香保まつり
- ▷ 渋川市民スポーツ祭ラグビーフットボール大会(小学生の部・秋の開催)
- ▷ 黒井峯夕音フェス
- ▷ みんなの昼夜の遊園地しぶかわハロウィンコレクション
- ▷ 「子どもの力を伸ばす大人の力」講演会
- ▷ 「合理的配慮と防災」パネルディスカッション
- ▷ 第8回しぶかわスポーツクラブまつり
- ▷ 渋川・戦国三国志450年祭開催事業
- ▷ 渋川市民吹奏楽団「しぶすいフェス」
- ▷ 渋川市民スポーツ祭ラグビーフットボール大会(高校生の部)
- ▷ Let'sおしごとチャレンジ inしぶかわ
- ▷ 渋川市20周年記念定期預金
- ▷ 第49回県民芸術祭参加事業・県民音楽のひろば群響渋川ニューイヤーコンサート
- ▷ 行幸田獅子舞ワークショップin行幸田保育園
- ▷ SHIBUKAWA ROCK CIRCUIT2026

### ■市または市が事務局を務める団体が実施するもの

- ▷ ふるさと納税(渋川市誕生20周年プロジェクト)
  - ▷ 第24回白井宿八重ざくら祭り
  - ▷ 三国脇往還白井宿第32回彌醉の匂会
  - ▷ 第20回市民スポーツ祭総合開会式ほか38件
- 詳しくは、右の2次元コード先の市ホームページで紹介しています。ぜひ、ご覧ください。
- 



6月1日  
1000人ROCK FES.GUNMA 弐零弐伍



9月13日  
しぶかわアニバーサリーフェスタ  
～ふるさと渋川の未来を食と音楽と芸術で奏でる～



12月14日  
Let'sおしごとチャレンジ inしぶかわ



7月29日～8月1日  
伊香保ハワイアンフェスティバル2025



6月14日  
元気をつなごう!ランタン祭りinおのがみ



11月8日  
第8回しぶかわスポーツクラブまつり



渋川市20周年

市のキャッチコピー「いで湯の街」をモチーフに、合併前の6市町村を「いで湯の湯気」で表現しています。市の花、市の木、市の鳥で20周年のお祝いに彩りを添えます。

公募・市民投票により決定し、20周年記念事業などのシンボルとして活用しています。

**とつ  
けき** インタビュー 過去の自分からの手紙



豊田 陽太さん  
(渋川地区出身)

大好きな「野球」を大学で続けています。高校1年生のときには、志望校で甲子園に行くことができました。凡事徹底やチームプレーなど、野球から得たことを胸に今後も頑張ります。未来の渋川も温かく、心が落ち着くまちであってほしいです。



式典会場では、(一社)渋川青年会議所の事業で小学6年生の時に書いた「二十歳の自分への手紙」が手渡されました。中には、中学校の授業で書いた手紙を手に、当時の自分と向き合う人もいました。

今回、手紙を受け取った人に、まちと共に歩んだ20年の思いを聞きました。



安藤 光志朗さん  
(渋川地区出身)

手紙に書かれた将来の夢はプロ野球選手。高校時代は野球に打ち込み、今はスポーツに関わる弁護士を目指しています。自分の20年を一言で表すと「濃い」です。都会とは異なる、渋川らしい充実した子育て環境・教育を、誇れる形で未来に残してほしいです。



(左から) 豊田 夏芽さん・武居 紅葉さん・田村 葵さん  
(渋川地区出身)

「未来でも仲良し」と手紙で宣言した通り、今でも仲良し3人組です。この20年、私たちと渋川市、姿形も中身も大きく成長しました。今、私たちは、夢に向かって進んでいます。渋川市も、活気あるまちを目指して、前進してほしいです。



高橋 風輝さん(中央) (子持地区出身)

手紙にあった「続けること、あきらめないこと、それが夢をかなえる一番確実な方法です」という言葉が、心に残りました。苦労も多かったけれど、当時の自分に胸を張れる20年でした。今後、渋川市がさらに活気づくことを期待しています。



はたち  
なりまし  
た

祝 渋川市はたちを祝う会



委員長 桥原心輝さん(北橋地区出身)

開催に向けて毎月1回会議を行い、ポスターや式典後の企画などを検討し、準備を進めてきました。大変でしたが、楽しみながら皆が協力し合って取り組み、楽しい祝う会になりました。

渋川市は住みやすいまちですが、良さが十分に知られていないと感じています。「群馬といえば渋川市」といわれるようになってほしいです。



はたちを祝う会を迎えて

祝う会当日までの準備は大変でしたが、運営委員のメンバーはとても仲が良く、良い雰囲気の中で作業を進めることができました。

現在は、生まれ育った伊香保で暮らしながら、2年目の社会人生活を送っています。大好きな温泉をはじめ、豊かな自然やまつりなど、伊香保の良いところがこれからもずっと続いてくれるとうれしいです。

副委員長 関萌さん(伊香保地区出身)



1月11日に市民会館で、渋川市20周年記念事業「市はたちを祝う会」が開催されました。式典の対象者は、609人で、式には、480人が参加しました。式典では、「はたちを祝う会運営委員が「はたちのことば」として、20歳を迎えた気持ちや今後の抱負を述べました。式典後には、運営委員が抽選企画を実施し、会場は大いに盛り上りました。詳しくは、■生涯学習課(TEL②2500)へ。

